

# まわりほどり通信

山形県立河北病院看護部通信  
第3号 平成28年2月1日



「まわりほどり通信」の発行も、3回目となりました。早いもので、あとひと月で今年度も終了です。今回は、今年度看護部が取り組んできた成果についてお知らせします。

今年度河北病院は機能評価を更新しました。看護部でもこの機会をチャンスと捉え、“看護”についての振り返りを行い改善していきました。特に看護計画では、看護ケアの適切な提供、患者さんやご家族の思いの反映（意思決定支援）がなされているかなどを把握し確認しました。まだまだ課題は多くありますが、看護部の理念にある“信頼される看護の提供”をめざし今後も頑張っていきます。



サーベヤーに対し、ケアプロセスを説明しています。

## 新規 資格取得状況

## NICD 研修

（生活行動回復看護技術）

去る1月30日北海道科学大学教授の林先生を迎え、NICD研修を行いました。看護の本質について再確認することができました。

## 今年度以下の看護師を養成しました。

- ・認知症認定看護師が誕生しました。
- ・救急室の充実をめざして、ファーストイストラクターが3名誕生しました。

ファーストイストラクターとは；

場所や状況を問わずに発生する様々な救急・急変時に、専門的な救急処置が開始されるまでの間、看護職として適切な緊急・応急処置ができる看護職をいいます。特に救急室での初期対応や緊急性の判断、患者家族への擁護者となれるような教育を受けています。また、当院では受講していない看護師を対象とした教育を行える資格を有するイストラクターがいます。

- ・周術期管理チーム認定看護師2名が誕生しました。  
麻酔科医の診療内容についてのダブルチェックや周術期リスクの評価、他の診療スタッフのコーディネートなどが期待されています。
- ・ピンクリボンイストラクターが誕生しました。  
乳がんの知識啓発キャンペーンでの支援を行います。

## 現在養成中です。

皮膚排泄ケア認定看護師、リンパ浮腫セラピスト、NST 専門療法士

ピンクリボンイストラクターのリボンはピカピカ



## 山形県 病院活用型訪問看護サービス創出事業

訪問看護実習



病院実習

山形県病院活用型訪問看護サービス創出事業の一環として、訪問看護師の役割を理解し、実際の現場を体験させていただき目的で、訪問看護ステーションへの実習をお願いしました。当院からは7名の看護師が青空訪問看護事業所、寒河江市西村山郡訪問看護ステーションでそれぞれ学んできました。また、実習をした看護師からは、「病院にいただけでは分からなかった事を沢山学べた」との声が聞かれました。この実習を通し、お互いの顔の見える関係作りも進み、ますます良い連携が出来ると期待しています。

寒河江市西村山郡訪問看護ステーションさんからは、当院での実習希望があり、6名の方の実習を受け入れました。